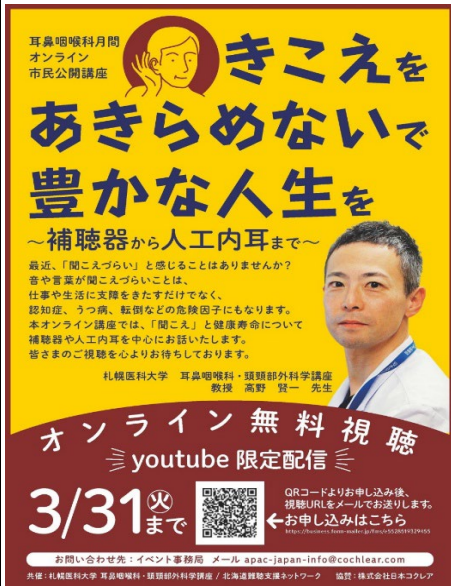
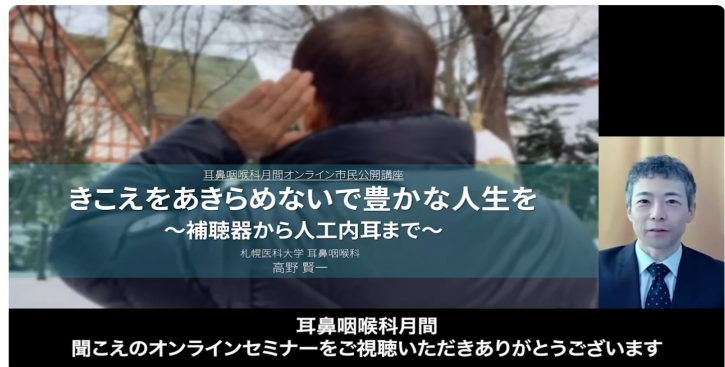


(別紙書式)

2026年耳鼻咽喉科月間優秀企画賞 申請書

作成日2026年4月1日

地方部会名	北海道地方部会
代表者名	高野 賢一
活動のタイトル	耳鼻咽喉科月間オンライン市民公開講座「きこえをあきらめないで豊かな人生を」
アピールポイント	オンライン配信により地理的・時間的制約を超えて広く市民に啓発可能。 低コスト・高再現性で継続展開可能な難聴啓発活動のひとつである。
表彰の対象となる取り組みと波及効果を記述して下さい。図表を添付頂いてもかまいません。	<p>活動内容と波及効果(400字から600字程度で記入してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・耳鼻咽喉科月間の取り組みとして、オンライン市民公開講座「きこえをあきらめないで豊かな人生を」を企画し、YouTube限定配信により無料公開した。SNS等を通じて広く周知を行い、400名を超える登録があり、北海道を中心に多くの市民に視聴された。内容は、難聴の基礎知識に加え、補聴器や人工内耳を含めた最新の聴覚医療について分かりやすく解説し、受診や相談につながる具体的な行動変容を促す構成とした。</li><li>・配信後、医会等からは「講演をきっかけに受診する難聴疑いの患者や家族が増加した」との報告があり、実際に当科においても人工内耳が決まった症例が複数いる。</li><li>・本取り組みは、難聴の早期発見・早期介入の重要性を広く周知し、医療機関への受診行動を喚起した点で意義が大きい。また、オンライン配信により地理的制約を超えて情報提供が可能となり、今後の継続的な啓発活動や他地域への展開にもつながる波及効果が期待される。</li></ul>   <p>耳鼻咽喉科月間 オンライン市民公開講座 きこえをあきらめないで豊かな人生を ～補聴器から人工内耳まで～</p> <p>最近、「聞こえづらい」と感じることはありませんか？ 音や言葉が聞こえづらいことは、 仕事や生活に支障をきたすだけでなく、 認知症、うつ病、転倒などの危険因子にもなります。 本オンライン講座では、「聞こえ」と健康寿命について 補聴器や人工内耳を中心にお話いたします。 皆さまのご視聴を心よりお待ちしております。</p> <p>札幌医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 教授 高野 賢一 先生</p> <p>オンライン無料視聴 youtube 限定配信</p> <p>3/31まで</p> <p>QRコードよりお申し込み後、 視聴URLをメールでお送りします。 ←お申し込みはこちら <a href="https://www.youtube.com/watch?v=5S28D9H129K">https://www.youtube.com/watch?v=5S28D9H129K</a></p> <p>お問い合わせ先：イベント事務局 メール <a href="mailto:apac-japan-info@cochlear.com">apac-japan-info@cochlear.com</a> 主催：札幌医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 / 北海道聴覚支援ネットワーク 協賛：株式会社日本コフレア</p> <p>耳鼻咽喉科月間 オンライン市民公開講座 きこえをあきらめないで豊かな人生を ～補聴器から人工内耳まで～</p>

(別紙書式)

2026年耳鼻咽喉科月間優秀企画賞 申請書


作成日2026年4月1日

地方部会名	北海道地方部会
代表者名	高野 賢一
活動のタイトル	補聴器販売店向けオンラインセミナー 「北海道におけるシームレスなきこえの取り組みについて」
アピールポイント	補聴器販売店との連携強化、医療サイドからの啓発にプラスとなり、日耳鼻が推進する難聴啓発プロジェクトの方向性にも合致
活動内容と波及効果(400字から600字程度で記入してください。)	<p>・道内の補聴器販売店を対象に、「北海道におけるシームレスなきこえの取り組みについて」と題した講演を実施した。耳鼻咽喉科医の立場から、補聴器装用の有用性や適切な適応判断の重要性に加え、補聴器から人工内耳へのスムーズな橋渡しの必要性について具体的に解説した。講演後には多数の質問が寄せられ、販売店側の関心の高さと課題意識の共有が図られた。</p> <p>本取り組みにより、医療機関と補聴器販売店の相互理解が深まり、紹介・連携体制の強化につながることを期待される。また、地域における難聴者への早期介入や適切な医療体制構築に寄与し、耳鼻咽喉科医、補聴器販売店、患者それぞれに波及効果が見込まれる。さらに、本活動は日耳鼻が推進する難聴啓発プロジェクトの理念とも合致し、地域モデルとして他地域への展開も期待される。</p>
表彰の対象となる取り組みと波及効果を記述して下さい。図表を添付頂いてもかまいません。	<div data-bbox="407 1152 911 1724"><p>2026年2月吉日</p><p>補聴器販売店様向けオンラインセミナーのご案内</p><p>拝啓 向春の候、貴社におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。 近年、補聴器や人工聴覚器の技術は進歩し、多くの難聴の方のこえとQOL向上に貢献しております。また日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会においてもその適応基準の見直しが継続的に行われるなど、より多くの難聴の方に、より良いこえを提供することができる環境になってきております。 本セミナーでは札幌医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 教授 高野 賢一 先生より、補聴器・人工内耳の現状や北海道における難聴患者様のためのシームレスな地域支援について講演いたします。 皆様のご参加を心よりお待ちしております。</p><p>記</p><p>敬具</p><ul style="list-style-type: none"><li>開催日時：2026年3月18日(水) 19:00 ~ (終了予定 20:00)</li><li>演 題：北海道におけるシームレスなきこえの取り組みについて 演者 札幌医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 教授 高野 賢一 先生</li><li>開催形式：オンライン (Microsoft Teams) お申し込みいただいた方へ後日参加リンクメールをお送りいたします。</li><li>申込方法：要事前申込み・参加無料 申込みフォーム (QRコードまたは下記 URL) よりお申し込み下さい。 <a href="https://business.form-mailer.jp/fms/429b1c32326349">https://business.form-mailer.jp/fms/429b1c32326349</a></li></ul><p>申込用 QRコード ?</p><ul style="list-style-type: none"><li>申込締切：2026年3月13日(金)</li><li>お問合せ先：日本コフレア イベント事務局 (Email: <a href="mailto:apac-japan-info@cochlear.com">apac-japan-info@cochlear.com</a>)</li><li>共催 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会北海道地方部会 / 北海道難聴支援ネットワーク 協賛：㈱日本コフレア</li></ul></div> <div data-bbox="911 1152 1605 1432"><p>【耳鼻咽喉科月間】補聴器店向けオンラインセミナー 2026.3.18</p><p>北海道におけるシームレスなきこえの取り組みについて</p><p>高野 賢一 (札幌医科大学 耳鼻咽喉科)</p></div>

(別紙書式)

2026年耳鼻咽喉科月間優秀企画賞 申請書

作成日2026年4月1日

地方部会名	北海道地方部会
代表者名	高野 賢一
活動のタイトル	市民公開講座 「その『いびき』命を縮めるサインかも！？一睡眠時無呼吸と健康リスクー」
アピールポイント	睡眠時無呼吸について知ってもらうだけでなく、耳鼻咽喉科が担う医療であることを啓発できた。
表彰の対象となる 取り組みと波及効果 を記述して下さい。 図表を添付頂いても かまいません。	<p>活動内容と波及効果(400字から600字程度で記入してください。)</p> <p>・帯広市民文化ホールにて、かちまい・札幌医大医療セミナー「その『いびき』命を縮めるサインかも！？一睡眠時無呼吸と健康リスクー」を開催しました。120名の市民が参加し、睡眠時無呼吸症の健康リスクや予防・治療法について知識を深めていただいた。</p> <p>内容は地元新聞でも紹介され、耳鼻咽喉科が睡眠医療の中核を担う科のひとつであることを認識してもらう良い契機となった。</p> 

(別紙書式)

2026年耳鼻咽喉科月間優秀企画賞 申請書

作成日2026年4月1日

地方部会名	北海道地方部会
代表者名	高野 賢一
活動のタイトル	旭川市議会議員向け勉強会 「地域社会における難聴の疾病負荷と次代に向けた政策提言」
アピールポイント	地方議会議員を対象に、難聴を「医療課題」から「社会課題」へと再定義し、政策形成に直接働きかけた取り組み。 エビデンスに基づく政策提言により、地域における持続可能な難聴対策の基盤構築につながる可能性が期待できる。
表彰の対象となる 取り組みと波及効果 を記述して下さい。 図表を添付頂いても かまいません。	活動内容と波及効果(400字から600字程度で記入してください。) ・4月28日に、旭川市議会議員を対象に、「地域社会における難聴の疾病負荷と次代に向けた政策提言」と題した勉強会を開催。難聴が認知機能低下や社会的孤立と関連し、医療費・介護費の増大にも影響し得ることを示し、個人の問題にとどまらない「社会的課題」としての位置づけを提示する。 ・補聴器装用支援、早期受診の促進、医療機関と地域資源の連携強化など、自治体レベルで実行可能な具体的施策について提言する。 ・議員との質疑応答を通じて、現場の課題認識の共有と政策的視点の深化が図られ、難聴対策を地域施策として検討する契機ともなる。 ・本取り組みは、医療専門職が政策形成過程に関与し、エビデンスに基づく意思決定を支援するモデルであり、他自治体への展開も期待される。結果として、難聴の早期発見・介入の促進、社会参加の維持、さらには医療・介護負担の軽減といった中長期的な波及効果が見込まれる。

(別紙書式)

2026年耳鼻咽喉科月間優秀企画賞 申請書

作成日2026年4月1日

地方部会名	北海道
代表者名	高野 賢一
活動のタイトル	耳の日記念 道内4会場啓発事業及び市民公開講座
アピールポイント	道内4会場で無料相談会と市民公開講座を展開し、地域の受診・啓発に貢献
活動内容と波及効果(400字から600字程度で記入してください。)	<p>2026年2月から3月にかけて、耳の日記念事業として「耳の無料相談会」を北海道内4会場(札幌、旭川、函館、釧路)で開催した。相談会では、①耳と聞こえに関する医療相談、②聴力測定、③福祉相談、④補聴器相談を一体的に実施し、聞こえに関する不安や課題に対して多面的かつ実践的に対応した。来場者数は札幌55名、旭川40名、函館28名、釧路19名で、計142名に上り、地域住民の高い関心とニーズが示された。</p> <p>旭川会場では、無料相談会の一環として市民公開講座を併催し、2026年2月20日に旭川北洋ビルにて、「難聴と認知症: 予防と早期対応のポイント」と題した講演を行った。講師は大湊久貴(旭川医科大学)が務め、難聴が日常生活や社会参加に及ぼす影響に加え、認知症との関連、早期発見・早期介入の重要性について、医学的根拠に基づき分かりやすく解説した。</p> <p>表彰の対象となる取り組みと波及効果を記述して下さい。図表を添付頂いてもかまいません。</p> <p>本企画は、耳鼻咽喉科領域の専門的知見を地域住民に還元するとともに、難聴を早期に認識し、適切な受診や支援につなげることを目的として実施した。広報面ではポスター配布に加え、北海道新聞社による社告掲載および開催後の記事掲載も行われ、地域社会への周知と情報発信の両面で高い効果を得た。講演と相談会を一体的に展開したことで、知識の普及にとどまらず、具体的な相談・受診を促す公益性の高い地域啓発活動となった。</p>

